

神戸大学 平成 27 年度ボランティア講座 募集要項

テーマ：見えないものを見ていくための試み

■開催趣旨 大阪・西成、釜ヶ崎を通じて、ボランティアという立ち位置で「見えないものを見ていく」実践について考える。人として人に関わる、とすることを通じてボランティアという営為を相対化する。多様な立場の絡み合い（子ども、親、労働者、野宿者、支援者、商工業者、学校関係者、女性、障害者など）という視点からボランティアを考えるきっかけとする。



- 平成 28 年 2 月 11 日（木・祝日）～2 月 12 日（金）
- 会場・宿泊： 旅路の里（大阪市西成区萩之茶屋 2-8-9）
- 募集定員： 10 人
- 申込方法： 裏面参照
- 申込締切： 2 月 2 日（火）
- 参加費用： ボランティア保険代¥500（未加入者のみ）／宿泊費不要
現地での食費・交通費は自己負担

1 日目【2/11（木）】

13:00 JR 新今宮駅集合

13:30～14:00 オリエンテーション

14:00～16:00 まち歩き： 水野阿修羅氏

16:00～17:10 基調講演

- 小柳伸顕氏 「こどもを通じて見た釜ヶ崎」（仮） 70 分

プロフィール： 1937 年生まれ。1968 年から 1975 年まで大阪市教育委員会嘱託ケースワーカーとして釜ヶ崎にあった大阪市立あいりん小中学校で働く。・・・

17:10～18:00 質疑応答 50 分

夕食、風呂

20:00～21:30 映画「Public Blue」／諸注意

22:00～ 木曜夜回りの会に参加

23:30～ 分かち合い



2日目【2/12（金）】

04:10 起床

04:40 センター見学に出発

05:00 センターの開館見学

09:00～10:00 シェルター見学（特定非営利活動法人釜ヶ崎支援機構・理事長 山田 實氏）

10:00～12:00 特定非営利活動法人釜ヶ崎医療連絡会議（代表 大谷隆夫氏）

12:00～13:00 昼食

13:00～14:30 分かち合い（会場：旅路の里）

14:30～16:30 特定非営利活動法人こどもの里（理事長 荘保共子氏）

17:00～18:30 インタビューについて（特定非営利活動法人釜ヶ崎支援機構・綱島洋之氏／会場：旅路の里）
当プログラムでは、「農業を通じた仕事づくり」に参加している日雇い労働者のインタビューを後日行ってまいります。実施に当たっての諸注意、日程調整、とりまとめの方法についてガイダンスを行います。



【参加パターン】の段階

1. フル参加 A： 全日程参加、インタビュー協力
2. フル参加 B： 全日程参加するが、インタビューには参加しない
3. 部分参加 A： どちらかの日程だけ参加でインタビューには協力
4. 部分参加 B： どちらかの日程だけ参加し、インタビューにも協力しない

【事前に読んでおく参考図書】 生田武志（2016）『釜ヶ崎から：貧困と野宿の日本』ちくま文庫



【主催】

神戸大学学生ボランティア支援室
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 1-2-1
電話 078-803-6256
ファックス 078-803-5438
メール hq-vol@lab.kobe-u.ac.jp

【参加申込み】以下の内容を明記の上、学生ボランティア支援室にメールで申し込むこと。

参加形態（1～4）のうち、参加度の高い者を優先します。

- ・ メールタイトル： ボランティア講座申込み
- ・ 氏名
- ・ 学籍番号
- ・ 携帯電話の番号
- ・ 現住所
- ・ 参加パターンの番号、及び部分参加の場合、日程と参加可能時間帯
- ・ ボランティア保険の加入の有無（未加入者は加入いただきます。保険料 500 円を当日持参のこと
- ・ ボランティア参加経験の有無、有りの場合はその内容

申し込み先：hq-vol@lab.kobe-u.ac.jp